

I 公益財団法人広島県老人クラブ連合会事業報告

平成 24 年度(平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日)

概 況

- ・ 公益法人制度改革関連3法の施行に伴い、新法人への移行に向けて検討を重ね、平成 23 年 8 月に広島県に対して移行認定の申請を行った。平成 24 年 3 月、広島県知事から公益財団法人として認定を受け 4 月 1 日に新法人の設立と旧法人の解散登記を行い、公益財団法人としてスタートした。
- ・ 平成 24 年度の単位クラブ数は 2,214 クラブ、会員数は 126,043 人であり、前年度に比べ、クラブ数で53クラブ、会員数で 5,282 人の減少となった。依然としてクラブ数、会員数の減少傾向は続いており、単位クラブの解散防止が喫緊の課題となっている。
- ・ 事業運営については、事業計画に基づき、健康づくり・介護予防事業、地域支えあい事業、社会活動指導者の育成事業、広報活動事業等に着実に取り組んだほか、全国三大運動並びに「老人の日・老人週間」の中で、友愛活動や社会奉仕活動など全県的な取り組みがなされた。
- ・ 老人クラブは、高齢者による高齢者のための生きがいや健康づくりなど、地域の担い手として欠くことのできない存在として活動しており、地域の関係団体と連携した活発な取り組みが期待されている。

事 業 報 告

《公益目的事業》

1 高齢者の健康づくり・介護予防活動に資する事業(公1)

第 7 次「健康をすすめる運動」要綱に基づき、健康づくりの重点課題として「学習」「実践」「点検」の活動、また、ねたきりや認知症の大きな要因である閉じこもり・孤立を防ぐ介護予防活動について、地域で暮らす全ての高齢者へ運動の輪を広げるため、単位クラブ、市町老人クラブ連合会、県老人クラブ連合会が連携して取り組みをすすめた。

(1) 老人クラブリーダーブロック研修会の開催

地域社会において重要な役割を担う市・町・地区老連指導者、女性リーダー、若手リーダーを対象に、健康づくり・介護予防の輪を広げ、健康で生きがいのある生活の実現をめざした活動の展開を図ることを目的として 4 ブロックでこの研修会を開催した。

参加者総数は 506 人であった。

平成 24 年度テーマ 「地域に健康づくり・介護予防の輪を広げよう！」

○日程

10:00	10:30	12:00	13:00	15:00		
受付	開会	事例発表 研究協議	昼食 休憩	いきいき クラブ体操	講 義 研究協議	閉会

ブロックの事情により適宜変更あり

○広島ブロック

開催老連	呉市
開催日	平成24年10月11日(木)
会場	海事歴史科学館 大和ミュージアム4階会議室(呉市宝町5-20)
参加者数	80人
内容	講演1「健康にも力を入れた日本海軍」 講師 呉市海事歴史科学館 大和ミュージアム館長 戸高一成 講演2「人生の先輩達こそ若者の手本となるべく、 スマートな減塩健康生活を」講師 日下医院院長 日下美穂 (こだわりのヘルシーグルメダイエット in 呉 代表)

○三原ブロック

開催老連	東広島市
開催日	平成24年11月2日(金)
会場	東広島市黒瀬町生涯学習センター (東広島市黒瀬町菅田10番地)
参加者数	130人
事例発表	「地域で健康づくり・介護予防活動の輪を広げよう」 三原市老人クラブ連合会 本郷地区 北方希望会会長 穴迫隆史 竹原市老人クラブ連合会 大乘地区 大乘永寿会会長 谷川 久
講演	「人生一世紀を充実して暮らすための5つの知恵」 講師 一般社団法人 リエゾン地域福祉研究所 理事長 丸山法子

○福山ブロック

開催老連	福山市
開催日	平成24年11月7日(水)
会場	福山労働会館「みやび」(福山市南蔵王町4丁目5-18)
参加者数	126人
事例発表	「女性委員会の活動について ～活動の活性化と組織強化について～」 福山市老人クラブ連合会 女性委員長 石田康子 「いきいきサロンの一日」 福山市老人クラブ連合会 駅家学区万下いきいきサロン代表 田辺純子 研究討議 老人クラブ活動の活性化と組織強化について
講演	「支え合うまちづくりと老人クラブの役割」 県立広島大学保健福祉学部人間福祉学科 講師 手島 洋

○三次ブロック

開催老連	世羅町
開催日	平成24年11月16日(金)
会場	せら文化センター パストラルホール (世羅郡世羅町寺町 1158-3)
参加者数	170人
事例発表	安芸高田市における「健康づくり」と「介護予防」への取り組み 安芸高田向原町老人クラブ連合会会長 佐々木 博 「ひろく楽しく集う女性委員会の活動をもとめて」 世羅町老人クラブ連合会 女性委員長 林 達子
アトラクション	舞踏, フラダンス, 腹話術
講演	「人生一世紀を充実して暮らすための5つの知恵」 講師 一般社団法人 リエゾン地域福祉研究所 理事長 丸山法子

(2) 第7回広島県老人クラブブロック別グラウンド・ゴルフ大会の開催

地域に健康づくりとシニア・スポーツを普及し、ふれあいと活力ある明るい長寿社会づくりの推進を目的として、県内4ブロック会場でこの大会を開催した。各市町から選抜された128チーム、815人が参加し、相互に親睦と交流を図りながら、健康づくりを推進することができた。

日程	9:00	9:30	10:00		15:00	15:30
	受付	開会式	ゲーム		表彰式 閉会式	解散

開催地区	広島ブロック	三原ブロック	福山ブロック	三次ブロック	
開催老連	北広島町	三原市	福山市	安芸高田市	
開催日時	10月12日(金)	10月2日(火)	10月31日(水)	10月16日(火)	
場所	豊平総合運動公園	久井グラウンド・ゴルフ場	福山市グラウンド・ゴルフ場	吉田運動公園	
参加人員	29チーム 179人	36チーム 216人	30チーム 200人	33チーム 220人	
大会内容等	優勝	向寿会 (呉市)	久保A (尾道市)	川上町三室会 (府中市)	帝釈末渡福寿会 (庄原市)
	準優勝	串戸会 (廿日市市)	中庄竹寿会 (尾道市)	三和老人クラブ (神石高原町)	庄原東A (庄原市)
	第3位	能美町老連 (江田島市)	中庄徳寿会 (尾道市)	福山市共楽会 (福山市)	せら東 (世羅町)
	その他	ホールインワン賞 58人	ホールインワン賞 52人	ホールインワン賞 56人	ホールインワン賞 78人

(3) 広島県老人クラブゲートボール大会

ア 第 31 回広島県老人クラブゲートボール大会の開催

ふれあいと活力ある明るい長寿社会づくりを推進するため、各市町から選抜された 28 チーム、250 人が参加した。親睦と交流を図りながら、健康づくりを推進することができた。

日程

8:30	9:00	9:30	15:10	15:30
受付	開 会 式	ゲ ー ム	表 彰 式	閉 会 式 解 散

期 日 平成 24 年 11 月 8 日(木) 9:00～15:30

会 場 広島市比治山下公園(広島市南区比治山本町8-1)

参加人員 28 チーム及び役員等 250 人

成 績 優 勝 因島水軍(尾道市)
準優勝 横田チーム(安芸高田市)
第 3 位 呉五区東(呉市)
第 4 位 小谷チーム(東広島市)

イ 全国健康福祉祭ねんりんピックへの参加支援

「平成 23 年度親善広島県老人クラブゲートボール大会」の優勝・準優勝 2 チームが、第 25 回全国健康福祉祭 宮城・仙台大会(ゲートボール交流大会)に参加した。

参加チーム 「東西条チーム」(東広島市)、「甲奴」(三次市)

(4) 健康づくり活動の推進

ア 「高齢者体力測定」の普及

高齢期における健康で生きがいのある生活をめざし、「高齢者の体力測定」の普及啓発を図った。

イ 「いきいきクラブ体操」の普及

「高齢者の誰もが楽しく参加できる」を合言葉に、健康寿命を延ばす「いきいきクラブ体操」の習慣化を呼びかけた。

ウ 高齢者の「健康ウォーキング」の普及

運動による健康づくりの定着を目指すため、「健康ウォーキング」の普及を呼びかけた。

エ 「ねたきりゼロ」運動の推進

老人クラブの「ねたきりゼロの 10 か条」の実践と普及を呼びかけた。

オ 「健康づくり中央セミナー」への参加

平成 25 年 1 月 23 日～1 月 25 日、神奈川県で開催された第 10 期「健康づくり中央セミナー」に 1 名が参加した。

2 高齢者の社会活動を推進する事業(公2)

心豊かな地域社会づくりに向けて、老人クラブ等高齢者の社会活動指導者に対する講習会を通じて、高齢者の相互支援や社会奉仕等の社会活動の推進を図った。

(1) 地域指導者講習会の開催

老人クラブ等高齢者の社会活動指導者に対して、地域の実情に応じた研修テーマ等により、16市・郡別会場において講習会を開催した。参加者総数は、24 会場で 2,953 人であった。

9:00	10:00		12:00	13:00	15:00
受付	開会	講義	事例発表	昼食 休憩	講演 研究討議
					閉会

※日程は地域の実状により適宜変更

(2) 在宅福祉を支える友愛活動の展開

ア 高齢者相互支援推進事業

福山市、江田島市、安芸高田市、大崎上島町の4老連をモデル市町老連として、老人クラブ会員が地域の一人暮らし高齢者や寝たきり高齢者、高齢者世帯等の家庭を訪問し、話し相手を基本に日常生活支援や家事援助等の活動を実践した。また、地域の高齢者に対し、高齢者相互支援についての啓発普及を行なった。高齢者相互支援推進シルバーリーダー研修会の参加者は延べ 239 人であり、相互支援延べ訪問回数は 9,422 回であった。

(ア) 高齢者相互支援推進会議

区分	第1回	第2回
開催月日	平成 24 年 6 月 5 日	平成 25 年 3 月 22 日
開催場所	県社会福祉会館	県社会福祉会館
出席者	6 人	7 人
内容	平成 24 年度高齢者相互支援事業について	平成 24 年度高齢者相互支援事業の実施結果について

(イ) 高齢者相互支援推進シルバーリーダー研修会

	10:20		11:10	12:30	13:30	13:50		14:50	15:00
受付	開会	事業説明 ビデオ鑑賞	講義	昼食 休憩	いきいき クラブ体操	地域活動推進 方法・研究討議		まとめ	閉会

○研修会の開催状況

老連名	開催月日	開催場所	参加人員
福山市	6 月 18 日	福山市老人会館	39
江田島市	7 月 19 日	大柿老人福祉センター	65
安芸高田市	10 月 10 日	クリスタルアージュ	95
大崎上島町	8 月 29 日	木江保健福祉センター	40

○友愛訪問の実施状況

モデル市町老連		福山市	江田島市	安芸高田市	大崎上島町	計
実施した会員数(人)		101	178	478	22	779
延訪問者数(人)		2,634	5,573	3,790	1,171	13,168
活動 内容 (回)	話し相手	1,874	3,865	832	849	7,420
	家事援助	90	54	18	110	272
	日常生活援助	102	276	45	75	498
	外出援助	62	19	73	121	275
	その他	491	180	286	0	957
延訪問回数		2,619	4,394	1,254	1,155	9,422

(ウ) 第18回「在宅福祉を支える友愛活動」セミナーへの参加(2人)

開催日 平成25年1月17日～18日

場所 全国社会福祉協議会(東京都)

実施内容

- ・基調報告 「在宅福祉を支える友愛活動の推進」
- ・活動報告 「同世代の暮らしを支える友愛活動」
- ・情報交換
- ・講演 「地域支え合いにおける元気高齢者の役割」

明治学院大学教授 河合克義

- ・全体会

イ 友愛活動の推進

住み慣れた地域で暮らすため、友愛活動の推進を呼びかけた。

- ・集いの場をつくろう！
- ・暮らしの支え合いを広げよう！
- ・役立つ情報を届けよう！

(3) 地域奉仕活動推進事業

老人クラブではこれまで、高齢者自らが健康保持・増進をすすめ、高齢社会・地域社会を支える担い手として、自主的・組織的に、健康・友愛・奉仕の全国三大運動等の推進に取り組んでおり、平成24年度も継続して推進した。

ア 第7次「健康をすすめる運動」

～地域に健康づくり・介護予防の輪を広げよう～の推進(再掲)

イ 在宅福祉を支える友愛活動

～暮らしを支える 笑顔の訪問～の推進

病弱やねたきりなどハンディキャップを持つ高齢者の生活と福祉は大きな社会問題となっており、これまでの友愛活動の実績を活かして在宅高齢者とその家族に対する支援を目的とする「話し相手」を基本とした「在宅福祉を支える友愛活動」を継続的に推進した。

ウ 全国一斉「社会奉仕の日」の推進 ～きれいな地球を子どもたちへ～

老人週間を契機に全国一斉「社会奉仕の日」(9月20日)を設定し、公共施設、道路、公園、河川、海浜、神社、仏閣の除草や清掃、資源回収、花壇の管理、山林歩道の整備など様々な奉仕活動が行われた。

12市町老連から活動状況について報告があり、参加者総数は901クラブ、33,071人であ

った。また、美化活動、環境にやさしい活動の取り組みについては、年間を通じて計画的な推進を図った。

3 地域社会と連携・協働活動を推進する事業(公3)

高齢者の社会参加を促進するため広報活動等を通じ、また関係機関・地域社会と連携して協働活動を推進した。

(1) 広島県老人クラブ大会の開催

高齢者福祉の向上と老人クラブ活動の発展を期するため、多年にわたり老人クラブの育成指導に貢献し、老人福祉の増進に寄与した人に、理事長表彰又は感謝状を贈呈しその功績を称えた。表彰式典のあと、呉市薬剤師会の佐々木一仁常務理事が記念講演、参加者全員で大会宣言を採択した。

開催日等

- ・期 日 平成 24 年 11 月 30 日(水) 13 時 30 分 ～15 時 30 分
- ・会 場 広島県社会福祉会館 講堂 (広島市南区比治山本町12-2)
- ・参加人員 150 人

表彰区分及び表彰者数(計 48 人)

- ・区・支部及び町老人クラブ連合会長勤続 7 年以上 5 人
- ・単位老人クラブ会長勤続 10 年以上 35 人
- ・特別表彰 8 人

記念講演 「健康とくすり ～いつまでも自分らしく～」

呉市薬剤師会 常務理事 佐々木一仁

大会宣言

宣 言

人口の減少・少子高齢化が進む今日、地域社会が変容し、高齢者の社会参加活動が求められ、高齢者の孤立防止や安全・安心対策など、地域では新たな支え合いが模索されています。

私たちはこれまでの健康・友愛・奉仕の全国三大運動の経験を活かしながら、高齢者の健康長寿への取り組みを核として、若い世代とともに手を携え、「新たな絆社会」の創造をめざします。

本日、ここに集う広島県の老人クラブ代表者は、「地域と福祉をささえる老人クラブ」の合言葉のもと、次の事項の実践を誓い、ここに宣言します。

- 一、健康長寿をめざす「健康づくり・介護予防活動」の推進
- 一、ふれあい・語らい・思いやる「地域支え合い活動(友愛)」の展開
- 一、高齢者相互の連帯と「自己実現をめざす活動」の場づくり
- 一、「高齢者の尊厳が守られる社会保障制度」の確立

平成 24 年 11 月 30 日

平成 24 年度広島県老人クラブ大会

(2) 広報誌「ひろしま県老連」の発行

老人クラブ活動や高齢者福祉の増進についての広報啓発活動を行うため、広報誌「ひろしま県老連」を発行し、市町老人クラブ連合会・単位クラブ・全国老人クラブ連合会等、県市町関係機関、希望のあった一般高齢者に配布した。

発行時期 平成 25 年 3 月

発行部数 12 万部

(3) 関係機関・関係団体との連携・協働事業の推進

全ての市町にネットワークを有する県内唯一の高齢者組織として、県関係局及び関係団体が実施する福祉、保健、健康、医療、交通安全、社会参加など高齢者に関わる事業と連携・協働を図った。

ア プラチナ世代支援協議会事業の推進

(ア) プラチナ世代社会参画促進キャンペーン 2012

プラチナ健康福祉祭 2012 ～埋蔵プラチナ世代を掘り起こせ～

開催日時 平成 24 年 11 月 18 日(日) 10 時 30 分～16 時 30 分

開催場所 (第 1 会場)広島県立広島産業会館西館

参加者数:1,500 人

(イ) 会議等の参加・出席状況

月日	会議名	場所
24.5.29	プラチナ世代社会参画促進キャンペーン事業業務委託 選定委員会	県庁
6.18	広島県プラチナ世代支援協議会総会	県庁
6.28	広島県プラチナ世代社会参画キャンペーン打合わせ会	県庁
8.20	広島県プラチナ世代社会参画誘導プロジェクト支援事業 助成交付金選定委員会	県庁
10.15	広島県プラチナ世代社会参画キャンペーン出展説明会	県庁
10.25	広島県プラチナ世代支援協議会総会	県庁
11.18	プラチナ健康福祉祭 2012	広島産業会館

イ 高齢者の交通安全対策の推進

広島県交通対策協議会の構成団体として、高齢者の交通事故防止対策を重点的に推進するため、交通安全の啓発広報活動に取り組んだ。

- | |
|--------------------------------------|
| ・春の全国交通安全運動 実施期間：5月11日～5月20日 |
| ・広島県夏の交通安全運動 実施期間：7月11日～7月20日 |
| ・秋の全国交通安全運動 実施期間：9月21日～9月30日 |
| ・年末交通事故防止県民総ぐるみ運動 実施期間:12月11日～12月20日 |

○広島県交通対策協議会会議等の開催状況

月日	会議名	場所
24.4.6	平成 24 年春の全国交通安全運動開始式	県庁
4.13	平成 24 年度広島県交通安全県民大会	アステールプラザ
5.25	広島県交通対策協議会交通安全対策部会幹事会	県庁

月日	会議名	場所
7.11	広島県夏の交通安全運動開始式	県庁
7.27	広島県交通対策協議会交通安全対策部会幹事会	県庁
9.21	秋の全国交通安全運動開始式	県庁
10.26	広島県交通対策協議会交通安全対策部会幹事会	県庁
12.11	「年末交通事故防止県民総ぐるみ運動開始式」	基町クレド広場
25.2.15	広島県交通対策協議会交通安全対策部会幹事会	県庁

ウ 高齢者に関わる制度・政策への対応

公益財団法人として、また高齢者代表としての立場から、県関係局及び関係団体が主宰する福祉、保健、健康、医療、交通安全、社会参画に係る審議会、協議会等に参画など、高齢者に関わる事業と連携・協働活動に取り組んだ。

○高齢者に関わる制度・政策への対応

団体名	名称	区分
中国地方整備局	中国地方バリアフリー等連絡会議	構成員
広島県健康福祉局	広島県後期高齢者医療審査会	委員
	広島県介護保険審査会	委員
	広島県自殺対策連絡協議会	委員
	広島県後期高齢者医療広域連合運営審議会	委員
	広島県社会福祉審議会	委員
	高齢者対策総合推進会議	委員
	広島県プラチナ世代支援協議会	委員
	ひろしま健康づくり県民運動推進会議	構成員
	広島県医療費適正化計画中間評価検討委員会	委員
	広島県福祉のまちづくり推進協議会	構成員
広島県環境県民局	広島県交通対策協議会	委員
	広島県交通対策協議会幹事会	幹事
	北方領土返還要求運動広島県民会議	構成員
広島県警察本部生活安全部	広島県暴走族対策会議	委員
	広島県暴走族対策会議幹事会	幹事
	広島県「減らそう犯罪」推進会議	構成員
	広島県「減らそう犯罪」推進会議幹事会	構成員
(財)広島県地域保健医療推進機構	財団法人広島県地域保健医療推進機構理事会	理事
	財団法人広島県地域保健医療推進機構評議員会	評議員
	明るい長寿社会づくり推進委員会	委員
(社福)広島県社会福祉協議会	広島県被災者生活サポートボラネット推進会議	委員
	社会福祉法に基づく運営適正化委員会の選考委員会	委員
広島県選挙管理委員会	広島県明るい選挙推進協議会	構成員
(一財)広島県交通安全協会	(一財)広島県交通安全協会理事会	理事
	広島県自転車安全教育推進員会	委員
その他	21世紀、県民の健康とくらしを考える会	構成員

○会議等への参加・出席状況

月日	会議名等	場所
24.5.21	広島県明るい選挙推進協議会総会	鯉城会館
5.22	全国健康福祉祭宮城仙台大会打合わせ会	県社会福祉会館
5.24	広島県社会福祉協議会第184回理事会	県社会福祉会館
6.2	広島県シニア総合スポーツ大会総合開会式	広島県総合グラウンド
6.9	広島県地域保健医療推進機構評議員会	県健康福祉C
6.6	広島県地域保健医療推進機構評議員会	県健康福祉C
6.12	広島県地域保健医療推進機構理事会	県健康福祉C
6.26	広島県交通安全協会理事会・評議員会	広島市内
6.27	広島県バリアフリー等地域連絡会議(中国運輸局)	広島市内
7.9	ひろしま健康づくり県民運動推進会議総会	県健康福祉C
7.9	広島県社会福祉審議会	県庁
7.12	北方領土返還要求運動広島県民会議総会	鯉城会館
7.18	広島県社会福祉協議会理事会	県社会福祉会館
8.2	広島県地域保健医療推進機構評議員会	県健康福祉C
8.7	広島県地域保健医療推進機構理事会	県健康福祉C
8.22	広島県社会福祉協議会社会福祉制度・予算対策委員会	県社会福祉会館
8.22	広島県医療費適正化計画検討委員会	県庁
9.11	広島県地域保健医療推進機構評議員会	県健康福祉C
9.19	広島県地域保健医療推進機構理事会	県健康福祉C
10.4	広島県暴走族対策会議幹事会	県庁
10・13	第13回シルバーピックふくやま	福山市体育館
10.23	広島県「減らそう犯罪」推進会議幹事会	県庁
10.23	広島県被災者生活ボラネット推進会議	県社会福祉会館
11.8	広島県「減らそう犯罪」推進会議	県庁
11.14	平成24年度広島県ふくしのまちづくりのつどい	県社会福祉会館
11.12	第13回広島県暴走族対策会議	中国新聞社ビル
12.5	広島県医療費適正化計画討委員会	県庁
12.14	広島県社会福祉協議会理事会	県社会福祉会館
25.2.1	広島県医療費適正化計画検討委員会	県庁
2.5	北方領土返還要求運動広島県民大会	鯉城会館
3.12	第2回広島県被災者生活ボラネット推進会議	県社会福祉会館
3.15	広島県自転車安全教育推進委員会	運転免許センター
3.21	(財)広島県地域保健医療推進機構評議員会	県健康福祉C
3.22	(財)広島県地域保健医療推進機構理事会	県健康福祉C
3.25	広島県社会福祉協議会理事会	県社会福祉会館
3.25	ひろしま健康づくり県民運動推進会議	県健康福祉C
3.27	21世紀、県民と健康のくらしを考える会(役員会)	広島県医師会
3.27	広島県自殺対策連絡協議会	県庁

4 生活を豊かにする楽しい活動と地域を豊かにする社会活動を推進し、地域と福祉をささえる老人クラブをめざす事業(公4)

(1) 三者連絡協議会(意見交換会)

平成23年度に引き続き、県主管課、県社会福祉協議会との連絡協議会において、定期的な連携を通じて、老人クラブ活動に対する理解と支援を要請・意見交換を行った。

月日	開催場所	人数	内 容
24・8.29	広島県社会福祉会館	13	1 予算要望事項について 2 県老連の課題について

(2) 協働活動の推進

老人クラブが地域でパワーを発揮するためには、事務局体制の拡充や新たな事業実施のための財源確保等、単老並びに市町老連がそれぞれに積極的に自立した運営を行っていく必要がある。このため「市町老連事務局長会議」及び「市町老連会長会議」を開催し、単位クラブ並びに市町老連との組織全体で協働活動を推進した。

月日	会議の名称	人数	内 容
24・6.5	市町老連事務局長会議	25	1 平成24年度県老連事業計画について 2 平成24年度全老連事業について 3 新公益法人への移行について
24・12.13	市町老連会長会議	18	1 平成24年度都道府県・指定都市老人クラブ連合会会長会議について 2 平成25年度県老連事業について 3 広報誌のリニューアルについて 4 県老連創立50周年事業について
25・2.26	市町老連事務局長会議	25	1 平成25年度県老連事業計画(案)について 2 平成25年度県老連事業予算(案)について 3 ブロック開催事業の調整について

(開催場所:広島県社会福祉会館)

(3) 県老連各種委員会の開催

女性委員会、活動指導研修委員会、若手委員会、女性若手委員会を次のとおり開催した。

開催月日	委員会等の名称	人数	内 容
24.5.17	女性委員会総会	22	1 平成24年度県老連事業計画について 2 平成24年度全老連事業計画について 3 女性部活動について情報交換
5.21	若手委員会・女性若手委員会	30	1 平成24年度県老連事業計画について 2 若手委員会・女性若手委員会の活動について意見交換

6.7	活動指導研修委員会	6	1 平成24年度地域指導者講習会開催要綱(案)について 2 平成24年度全老連事業計画について 3 平成24年度県老連事業計画について 4 平成24年度広島県地域指導者講習会テキストの作成について
-----	-----------	---	---

(開催場所:広島県社会福祉会館)

(4) 生活モニター活動

平成23年度に実施した「ひとり暮らしや高齢者夫婦世帯が、暮らしの中で困っていること、不自由を感じていること」をテーマにした生活モニター活動調査をもとに、市町老連において結果を生かした取り組みを展開した。

(5) 全老連が主催する会議・研修会等への参加

老人クラブ活動の充実強化を図るため、全老連主催の研修・セミナーに積極的に参加した。

開催日	会議名・研修名	場所
4.24	中国ブロック県・指定都市老連連絡協議会	島根県
5.22	全老連女性委員会総会	東京都
5.31	全老連理事会・評議員会	東京都
6.21～22	第1回都道府県・指定都市老連事務局長会議	東京都
7.5～6	中国・四国ブロック老人クラブリーダー研修会	徳島県
10.4	50周年記念全国老人クラブ大会	東京都
11.8～9	第24回老人クラブ女性リーダーセミナー	東京都
11.9	第39回全老連女性委員会総会	東京都
1.23～25	第10期健康づくり中央セミナー	神奈川県
12.6～7	都道府県・指定都市老人クラブ連合会会長会議	東京都
1.17～18	第18回在宅福祉を支える友愛セミナー	東京都
2.13	第2回都道府県・指定都市老連事務局長会議	東京都
3.5	全老連理事会・評議員会	東京都

○活動賞

全国老人クラブ連合会では、優良事例を掘り起こすとともに活動の意欲を高め、老人クラブ活動の一層の発展を目指し、20年度から新たに老人クラブの活動分野別に「活動賞」を贈呈している。24年度の受賞団体は次のとおりである。

・ボランティア活動部門:尾道市老人クラブ連合会(伝承教室)

(6) 関係団体研修等への派遣

広島県高齢者健康福祉大学校(愛称:プラチナ大学)に老人クラブの地域リーダー育成の一環として7人(廿日市市老連7人)を派遣した。

(7) ホームページの管理運営及び普及

ホームページを活用して公益財団法人として必要な法人関係情報について開示するとともに、老人クラブの活動状況について普及啓発を図った。

《その他の事業》

5 老人クラブの組織強化を図る事業(他1)

(1) 老人クラブ普及事業

ア 老人クラブ会員増強事業

チラシ、パンフレット等を配布し、会員増強を呼びかけた。

イ 老人クラブ数等の状況

老人クラブ数は前年比で 53 クラブ、会員数 5,282 人減少した。

依然として減少傾向が続いており、老人クラブの解散防止が喫緊の課題となっている。

年度	クラブ数	会員数(人)	加入率(%)
19	2,519	149,429	27.7
20	2,467	146,249	26.3
21	2,415	142,289	25.0
22	2,347	136,247	23.4
23	2,267	131,325	22.1
24	2,214	126,043	21.0

(注)加入率:老人クラブ会員数/60歳以上の人口

ウ 活動資料、研修教材の普及事業

老人クラブ活動を効果的に推進するため、月刊「全老連」、「老人クラブリーダー必携」、「老人クラブ活動日誌」、「老人クラブ会計簿」、「老人クラブ手帳」等の普及を図った。

(2) 会員の安全対策と連帯意識の高揚を図る事業

ア 「老人クラブ傷害保険」の組織的普及

活動中や会員の日常生活の事故に備えた「老人クラブ傷害保険」の組織的な普及と安全対策を図った。平成 24 年度の加入者数は 6,757 人であった。

イ 全国の会員をつなぐ仲間のシンボル「老人クラブ会員章」の普及

会員の連帯意識を高め、仲間のしるしである会員章の普及を通じて活動強化を図った。

(3) 表彰事業

多年にわたり老人クラブの育成指導に貢献し、老人福祉の増進に寄与した人に対して、理事長表彰等を行った。(再掲)

- ・県老連理事長表彰、感謝状の贈呈

《法人の管理運営》

6 法人の管理運営(法人会計)

(1) 役員会等の開催

会務の適切な運営と推進を図るため、次のとおり役員会等を開催した。

月日	会議名	人数	主な内容
24. 5. 8	監事会	5	平成 23 年度事業実施状況並びに収支決算について
5.11	第 1 回運営委員会	9	1 平成 23 年度連事業実施状況について 2 平成 23 年度収支決算について 3 新公益法人への移行について

月日	会 議 名	人数	主 な 内 容
5.25	第 1 回通常理事会	16	1 平成 23 年度事業実施状況について 2 平成 23 年度収支決算について 3 新公益法人への移行について
6.13	平成 24 年度定時 評議員会	27	1 平成 23 年度事業実施状況について 2 平成 23 年度収支決算について 3 新公益法人への移行について
7.23	第 2 回運営委員会	8	1 平成 24 年度福祉予算に対する要望事項について 2 50 周年記念行事について 3 「意見交換会」の議題について
9.27	50 周年準備会	3	50 周年記念行事について
10.26	50 周年準備会	3	50 周年記念行事について
25.2.19	第 3 回運営委員会	9	1 平成 24 年度収支予算執行見込みについて 2 平成 25 年度事業計画について 3 平成 25 年度収支予算について 4 理事会に提出する議案について
3.14	第 2 回通常理事会	14	1 平成 25 年度事業計画について 2 平成 25 年度収支予算について 3 報告事項

(開催場所:広島県社会福祉会館)

(2) 老人クラブ等活動推進員の設置

「老人クラブ等活動推進員設置事業運営要綱」に基づき、県老連事務局職員 2 名を「老人クラブ等活動推進員」として任用し、高齢者の社会参加に係る企画立案、調査研究、市町村老人クラブの育成等の事業を実施した。

(3) 要望活動

県の厳しい財政状況が予想されるなかで、総合的な予算確保・社会福祉制度の要求をしていく必要がある。このため、社会福祉関係 19 団体において、平成 25 年度の予算編成に向けた重点要望を取りまとめ、県健康福祉局長及び関係部課長に要望した。(要望日:9 月 6 日)

(4) 資料作成配布

月 日	名 称	部数	備 考
24.4.5	平成 24 年度事業計画並びに収支予算書	350	A4,46 頁
6. 28	平成 23 年度事業報告並びに収支決算書	300	A4,66 頁
6. 1	平成 24 年度高齢者相互支援推進シルバーリーダー 研修会資料	400	A4,24 頁
7.10	平成 24 年度地域指導者講習会資料	4,000	A4,58 頁
11.8	第 31 回広島県老人クラブゲートボール大会資料	300	A4,20 頁
11.30	平成 24 年度広島県老人クラブ大会	200	A4,28 頁
25.3.31	平成 24 年度高齢者相互支援事業事例集	600	A4,27 頁